

作詞作曲:さだまさし

秋桜(コスモス)

うす紅の秋桜が 秋の日の 何気ない
陽溜りに揺れている此頃 涙脆く

なつた母が 庭先でひとつ咳をする

縁側でアルバムを開いては 私の幼い日の

思い出を 何度も同じ話くりかえす

独言みたいに小さな声で こんな小春日和の

穏やかな日はあなたの優しさが浸みて来る

明日嫁ぐ私に苦勞はしても

笑い話に時が変えるよ 心配いらないと笑った

あれこれと思い出をたどったらいつの日も

ひとりではなかったと今更乍ら わがままな

私に 唇かんでいます

明日への荷造りに手を借りて

しばらくは楽し気にいたけれど

突然涙ごぼし元気でと 何度も何度も

くりかえす母 ありがとうの言葉を

かみしめながら 生きてみます 私なりに

こんな小春日和の穏やかな日は

もう少しあなたの子供でいさせてください